

平生町

議会だより

3月議会報告

3月定例会 3/8~22(15日間)

第168号

2023年5月26日

発行 平生町議会 発行責任者 中川 裕之
 〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
 E-mail gikail@town.hirao.lg.jp
 編集 議会広報広聴調査特別委員会
 印刷 中村印刷株式会社



主な内容

定例会・予算特別委員会・常任委員会審査報告など	2～5ページ
いっぱん質問 7人	6～12ページ
臨時会	12ページ
自治功労者及び町村議会表彰伝達式・研修報告など	13ページ
議会の動き・6月定例会予定など	14ページ

令和5年度予算

一般会計
特別会計

合計 103億4,558万5千円を可決

令和5年度予算（案）などを審議する3月定例会は3月8日から22日までの会期で開かれ、議員提出議案1件、補正予算7件、新年度予算6件、条例9件、事件2件、同意1件、諮問1件が上程されました。最終日の22日には、すべての議案を全会一致または賛成多数で可決し、閉会しました。

令和5年度 予算編成方針（概要）

「自然豊かな活気あふれる幸せのまち平生」の実現に向けて、希望をもって輝き続ける次世代につながる取組みを進める。

本町が持つ特性を活かしながら、町内外から「住んでよかった」「住み続けたい」「住みたい」と住みよさを実感でき、愛着や好感を持たれる魅力あふれるまちづくりに必要な事業の着実な推進と、財政の健全化による持続可能な行財政基盤の構築の両立を図る。

ポストコロナに向けて変化する生活・価値観を的確に捉え、まちが成長を続ける未来を切り拓く取組みを進める。

以上のことから、予算編成テーマを少子化対策、地域資源を活用した地域ブランド戦略を重点施策事業と位置づけ、予算編成を行った。

各会計予算の特徴

一般会計

予算規模は、58億300万円で前年度と比較して1億1,000万円の増額となっている。道路橋梁補修事業や保健センター改修事業の増額が主な要因である。歳入では、町税は全体で約3,300万円の増額、地方交付税は、少子化対策として、紙おむつ等の育児

税は4,200万円の増額となっている。繰入金については、財政基金から1億8,510万4,000円、公共施設整備基金から1,000万円、地球温暖化対策推進基金から270万円を繰入れる。

歳出の主な事業では、少子化対策として、紙おむつ等の育児

予算総括表

(単位：千円)

会計名	本年度	前年度	増減額	
一般会計	5,803,000	5,693,000	110,000	
特別会計	国民健康保険事業勘定特別会計	1,697,085	1,678,085	19,000
	下水道事業特別会計	0	771,696	△771,696
	漁業集落環境整備事業特別会計	0	119,262	△119,262
	熊南地域介護認定審査会事業特別会計	24,873	24,440	433
	介護保険事業勘定特別会計	1,385,910	1,391,564	△5,654
	後期高齢者医療事業特別会計	274,237	288,820	△14,583
計	3,382,105	4,273,867	△891,762	
企業会計	収益的支出	556,454	0	556,454
	資本的支出	604,026	0	604,026
	計	1,160,480	0	1,160,480
合計	10,345,585	9,966,867	378,718	

用品購入費用を支給する事業を実施し、また、医療費無償化の対象を18歳までに拡充する。

地域ブランド戦略

では、オリーブやレモンの試験栽培、イタリア野菜の普及を進めるほか、地元農業高校との連携によるオリーブの特産品化に向けた研究などを実施する。また、イタリアアノひらおシティプロモーション事業により、関係人口の創出を図る。

地域防災体制の強化として高潮ハザードマップを更新する。新庁舎整備事業として、進入路及び駐車場、屋外トイレ棟の工事に加えてEVスタンドを設置する。

省エネ性能の高い家電等への買換えを促進する助成金事業の実施、SNSを活用した情報発信と電

子申請の内容を拡充、マイナンバーカード等を活用した申請書作成の支援システムを導入する。

特別会計

国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の会計では保険給付費が増加の見込み。介護保険事業では、給付費が減少の見込み。

下水道事業会計

下水道事業及び漁業集落環境整備事業の各特別会計は、地方公営企業法の適用により令和5年4月から下水道事業会計へ移行する。

予算額は11億6,048万円となり、公営企業会計の特徴である減価償却費など現金の伴わない費用の計上により、前年度より2億6,952万2,000円の増。

予算特別 委員会の 審議内容 3月13日・14日

一般会計

質 公共施設整備基金に1,000万円積み立てられているが、続けるべきである。下水道の償還が減ってくるが、その分基金に積み立てる計画を作るべきである。

答 減少していくことは確かだが、毎年色々な事業に投資していかなければならない。そうした事業に対する償還も出てくるので検討している段階である。

質 ふるさと納税の魅力ある返礼品の発掘について、地域振興課と産業課との連携はどうなっているか。

答 定期的な会議はないが、同じフロアであり、情報の共有をはかっている。

質 デジタル化の進捗状況はどうなっているか。

答 スケジュール的には進んでいるが、今の業者が撤退するので今のシステムが使えず、業者を乗り換えなければならぬ課題がある。

質 今の業者は全部やめて新しい体制になるということか。

答 平生町の住民情報システムは京都の業者が作っており、その業者が標準化に対応しないと発表されており、これから総合的に調整しなければならない。

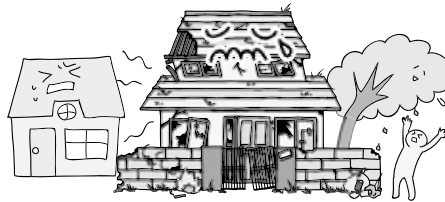
質 職員管理計画では56歳、59歳が6人、52歳、55歳が14人、48歳、51歳が17人、44歳、47歳が28人となっており、この山の対策を取っておかないと組織的に混乱を起す。

答 今は人が足りない状況で、採用試験を行っても応募がゼロという状況。今後どういう対応ができるか検討する必要がある。

質 18歳までの子ども医療費の助成がスタートするが、大学に進学

した場合でも4年間は扶養者である。助成を後ろにずらせば人口減少対策になるのでは。

答 人口減少対策に加え、子育て支援の観点から18歳まで医療費助成を拡充するが、他市町の状況を見ながら今後の検討課題にした



質 危険な空き家は、周辺に迷惑がかからないように行政が踏み込んだ対応が出来るか。

答 個人の財産であり、放置すれば近隣に迷惑をかけることや管理は所有者の責任であることをしっかりPRしていく。

質 省エネ家電等買

替え促進事業について、来年度の募集はどのように考えているか。

答 令和4年度は、エアコンや給湯器の品薄もあり、受付期間を早くしたが、令和5年度は、補助率を下げ、上限も下げたので、周知期間を早くし、一定の期間を取ったのちに受付順で交付決定を出す。

質 新規漁業就業者定着促進事業について、定着するためには魚が売れる方向にもっていかないといけない。育成していく中で販売ルートなどは考えているか。

答 販路の開拓は、基本的には漁業者が中心で検討してもらう。現在、それぞれの漁業者が販路を見つけて有利なところに出荷している。以前、特産品センターでの販売について問合せがあったが、現在協議中である。

質 38人学級に係る学校への影響とその対応は。

答 平生中学校の1年生は76人で、今まで3クラスであったのが、急に2クラスになる。対応として、県から非常勤をいただき、県の一般非常勤を平生中学校に集中させ、町費で非常勤をつけ、多くの授業で3クラスが維持できるように進めている。

質 水道料金を維持するために1億円近い支出をしているが、それでも、県内で2番目に高い下関や宇部地域は20トン使って3,000円で、それよりも1,500円以上高い。県の負担を多くするために地域の実情を県にあげてもらいたい。

答 今年度も1市4町の首長全員で知事に要望したが財政的支援を増額してもらえなかったのは残念だが言い続けるしかない。

国民健康保険事業勘定特別会計

質 年収400万円未満夫婦と子供2人の4人家族では、県の示す標準

保険料率では保険税額が52万円で、平生町の税率では44万円で、協会けんぽと比べると2倍。町長には、国に対して、財政負担をして均等割りや平等割をなくすよう要望していただきたい。

答 国保税が高いのは承知している。力強く働きかけたい。

質 国保の保険証としてマイナンバーカードが使える医療機関は。町内では、医療機関は7つの内3、歯科医院は4つの内0、薬局は7つのうち5。

介護保険事業勘定特別会計

質 物価の高騰などで、閉鎖された事業所はあるか。

答 物価高騰については臨時交付金を活用して補助事業を行っている。物価高騰の影響かは分からないが、デイサービスの事業所が1つ閉鎖した。

補正予算

令和4年度平生町各会計補正予算

一般会計で、1億3,471万7千円を減額し、総額62億3,936万円となり、特別会計全体で、6,259万8千円を減額し、総額42億8,599万4千円となるもの。

▼令和4年度3月各会計の補正予算は上記の総括表のとおりです。基本的には、各会計とも事業費・支出の確定見込みによるものが大半です。

令和4年度平生町各会計補正予算総括表 <3月> (単位:千円)				
会計区分	補正前の額	補正額	計	
一般会計	6,374,077	△134,717	6,239,360	
特別会計	4,348,592	△62,598	4,285,994	
内訳	国民健康保険事業	1,712,776	7,845	1,720,621
	下水道事業	769,858	△6,952	762,906
	漁業集落環境整備事業	122,665	1	122,666
	熊南地域介護認定審査会事業	24,420	△825	23,595
	介護保険事業	1,430,072	△57,103	1,372,969
	後期高齢者医療事業	288,801	△5,564	283,237
合計	10,722,669	△197,315	10,525,354	

常任委員会審査報告

産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた案件を3月16日に審査した結果、議案はすべて全会一致で可決すべきとなりました。主な審査経過は次のとおりです。

【質】環境保全費の危険空家等除却促進事業では、

努力により1件の実績があったことを評価したい。この取り組みはどのような手順で進めたのか。

【答】町外の方には、固定資産税の納税通知書を送付する際に周知文書を送付している。また、

広報により制度の周知を行った。引き続き、色々なチャンネルを活用して周知を図りたい。教育費では、小学校及び中学校において就学援助費が減額となっている。給食の無料化に伴う影響とかが状況はどうか。

【答】主な要因は、給食費が11月から無償化となった。

たことである。

【要】低所得家庭の児童生徒の給食費の支援について、

就学援助費で給食費の部分だけ基準を緩和することは有効な施策であると考えられる。新年度から運用が可能なら低所得家庭の就学を支援する観点から検討してほしい。

【質】漁業集落環境整備事業特別会計補正予算の

処理施設改築工事2,890万円の繰越の内容は。

【答】補助工事の「浄化センター」の改築2,

500万円と単独工事の「浄化センター」の扉の更新390万円である。繰越理由は全国的な半導体不足の影響により納期の遅延が生じ、工期の延長となったもの。

総務厚生常任委員会

本会議から付託を受けた案件を3月15日に審査した結果、議案はすべて全会一致で可決すべきとなりました。

議案番号	条例名・事件名	審議結果
議案第15号	平生町地域交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第16号	平生町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第17号	平生町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第18号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第19号	平生町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第20号	平生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	賛成多数
議案第21号	平生町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第22号	平生町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第23号	平生町国民健康保険条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第24号	山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更について	全会一致
議案第25号	山口県市町総合事務組合の財産処分について	全会一致

議員提出議案

「平生町議会の個人情報の保護に関する条例」の制定について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により改正された個人情報の保護に関する法律が、令和5年4月1日から施行されることに伴い、議会における個人情報の取扱いが法律から適用除外されることになることから、議会における個人情報を保護するため、執行機関の取扱いと差異が生じないように、条例を制定するもの。

人事案件

平生町固定資産評価審査委員会委員の選任

安村和之さんの任期満了に伴い、後任に岡村誠士さん（岩国市）の選任に全会一致で同意しました。

人権擁護委員の推薦

岩沼光裕さんが任期満了となりますが、引き続き人権擁護委員として推薦したいとの申し出があったことから、全会一致で承認しました。

反対討論

赤松義生議員

議案第9号 一般会計予算

「未来を拓き活力に満ちたまちづくり」をテーマに予算編成がなされていますが、子どもの医療費の無償化の対象年齢を18歳まで拡充し、会計年度任用職員の処遇も一定程度改善され、児童クラブの時間延長、学校給食費における物価高騰分に対する補填、また、道路整備などにも注意が払われており、こうした点については評価すべきものと思います。

しかし、今年度の地方財政計画は、政府方針に基づきマイナンバー予算をはじめとする「デジタル田園都市構想」の推進などを地方自治体に押し付けるものとなっており、本町も例外ではありません。

私はデジタル技術の普及そのものには反対ではありませんが、最大の目的は行政の持つデータとサービスを企業の儲け口につなげるかを財界主導で具体化するものであり、賛成できません。

議案第10号 国民健康保険事業勘定特別会計予算

私はこれまで、基金を活用して引き下げが行われたことに鑑み賛成をしてきました。しかし、国保は国の制度ではあり、国民皆保険制度の一環と言いながら、他の保険制度と違い応能割に加え応益割があり、加入者を苦しめています。ここに制度の根本的な問題があると言えます。

他の保険制度並みの保険税に改善されることを要求します。

議案第12号 介護保険事業勘定特別会計予算

コロナ禍のもと、深刻な経営状況にある事業者への支援は引き続き改善されていません。また利用者にとっても利用しづらくなるばかりです。国は利用料の2割負担の対象者の拡大などを計画しており、抗議の意味を込めて反対します。

議案第13号 平生町後期高齢者医療事業特別会計予算

昨年10月からの窓口負担2割への倍増は本町では、463名で全体の18%の方が影響を受けています。24年度は保険料の限度額を7万円引き上げて73万円にする計画のようです。また、出産育児一時金の費用の一部を後期高齢者医療制度に負担させる計画のようです、長い間社会に貢献された方々に対し納得できる仕打ちではありません。自助・共助・公助といいますが、自助そのものの冷たい政策です。減らされてきた国庫負担の増額を求めます。



河藤泰明 議員

いっぱん質問



が聞きたい



質 めくもりある平生町のイタリアーノひらおについて

答 町民と一緒に取り組みを進めていきたい

質

町内の地域資源を活用した経済の活性化と、町民のための「キャッチフレーズ」や「街づくりのコンセプト」だけでなく、来町者にも、「なんだか楽しそう」と誰もが訪れたくなる町、住みたくなる町だと5感で感じてもらえる、「新・真・心イタリアーノひらお」へと、進・真・深化できないか。

答 町長

イタリアーノひらおは、一つの事業を指すものではなく町のイメージを創造していくもので、基本スタンスは今後も継承し、観光産業分野の取り組みを行う。

主な取り組みの内容は、イタリア人プロ自転車レーサーの招聘やPR動画作成、オリーブ・レモンの試験栽培、町内企業紹介などを行ってきた。関連する独自の取り組みとしては、イタリア野菜の推進などにも取り組んできた。

今後においても、イタリアーノひらおを感じられるような町の魅力を再認識いただけるように取り組みを進めたい。
行政の考えることには限度もあり、できないこともある。町民のみなさんと一緒に取り組みを進めたい。

質 めくもりある平生町の生きがいについて

答 楽しく仕事ができる職場を目指す

質

憧れの職業、公務員だが、メンタル面の不調で、やむを得ず休職や、改善せず辞めてしまいう方もいる。その中には町民の為まじめに一生懸命、取り組んでこられた方がおられる事が非常に残念だ。

職員が生きがいを感じる職場環境と整備が必要だ。町長にはボスでなく、リーダーとして、しっかり旗振りをお願いしたい。

答 町長

職場でいろんなことがあることは承知している。

公務員は究極のサービスマンであり町民の皆様が喜んでくれることが公務員としてのやりがい生きがいと私自身の体験から感じてきたのでお願いしてきた。

研修などを通じて、それぞれの職員が大切にする価値観やモチベーションを理解する機会や、職員の抱える悩みを上司とともに一緒に考える機会の確保に取り組む必要がある。

また、職員の勤務実態を把握し、職員が十分に能力を発揮できる体制づくりや職場環境の整備も大切なことと考えており、適正な職員数の確保、会計年度任用職員の活用、民間委託やDX化など、業務の効率化に努め、職員が楽しく仕事ができる職場を目指す。



細田留美子 議員

質 LGBT（性的少数者）に配慮を

答 LGBTへの正しい理解と意識の醸成を図っていく

質

人口の8%が当事者というデータもある、性の多様性への関心の高まりや国会でも「理解増進法」案が審議されている。誰もが住み良い平生にするには大切な案件と考える。

1. 町長の見解を問う。
2. 策定中の平生町人権施策推進指針では同性障害と記されている。現在はLGBTと表記されることが一般的だ。それについてはどう考えているのか。

3. 学校教育での取組状況はどうか。
4. 社会教育では昨年は人権講座で取り上げていた。町民へ広報はどのようにしていくのか。
パートナーシップ制度を242自治体が入力している。制度ができるのと住民の理解が格段と進む。取り組み予定はないか。
学校に当事者がいる場合の対応はどうか。

答 町長

① LGBTの差別や偏見を解消していくためにも、町民の関心を高め、正しい知識や理解を深めることが重要と考える。町民の人権が等しく保障され、あらゆる差別や偏見のないまちづくりを目指し積極的に施策を推進する。
② 社会経済の動向から表現不足の点もあるとの認識から、表記を変更する考えである。

答 教育長

③ LGBT等を扱う研修などにより教職員の意識を高めている。また、児童生徒に対しては、発達の段階を踏まえて、学習に取り組んでいる。
④ 人権学習講座のみならず、リーフレットなども活用しながら性の多様性を認め合う意識の醸成を図っている。

質 魅力ある平生をつくれ

答 イタリアーノひらおを町民みんなで進めたい

質

令和4年度予算の地域振興課新規事業について効果を質問する。

関係人口創出、移住定住交流推進支援、移住体験住宅整備、関係人口創出に向けた地域おこし協力隊活動支援の各事業に取り組みました。どのような変化が生まれ、それを今後どのようにつなげていくのか。現状と課題を聞く。

協力隊等と住民との協働をどう構築し、支援していくのか。
イタリアーノひらおの具体的な取り組みはどう考えているのか。

答 町長

今年度は、関係人口創出事業、移住定住交流推進事業の取り組みを行い新たに2名の地域おこし協力隊員も着任し協力の下、移住者、町外者の目線で町外の人に平生町という町を知ってもらうためにブランド化を図る取り組みも進めてきた。

平生町を知った人、興味を持たれた人など、多様に関わる人は増加しており一定の効果を感じている。

新年度に入り家族5人が移住されると聞いている。移住した人いろいろな宣伝してもらいのも一つのやり方と考える。
行政としてやることもあるが、町民と一緒になって取り組みを進めたい。





赤松義生 議員

質 学校給食は、令和16年ごろまで現状のまま

その他の質問

- ・ 公害対策について
- ・ 米軍機の爆音について
- ・ 阿多田交流館の活用について



か。情報提供はあったか。

答 現状では限界はすでに迎えている

質

町長は、田布施町に学校給食の共同調理について申入れをした。

私は、新庁舎の起債の償還のピークが過ぎる令和16年まで現状で推移すべきと思う。

給食は、町内の多くの方がかわつており、経済的な波及効果もそれなりのものがある。

町単独での給食センターの建設でも、こうした効果は維持できると思うが、現状では財政上厳しいと思う。

給食にかかわる職員さんたちは、一生懸命仕事をされ、事故もなく安全な給食をつくつてこられたが、適切な情報提供はあったのか。

答

教育長

来年度には平生小学校の給食室・厨房改修として、黒カビ改修や雨漏り等の対応を行う必要もあり、給食施設の限界はすでに迎えていると考えている。

現状にあつては、機器の保持、食中毒など細心の注意を調理員の方々と協力して継続していくが、何らかの事故、トラブルが発生した際には長期間給食が提供できないことも考えられる。

安全・安心を第一に考えると早期に給食施設の対応が必要と考える。

関係する職員へは、個人面談等でその時々情報が伝えていますが、具体的な決定がされていいため、不安を払拭する情報は伝えることができていないのが現状である。

質 高齢者などの交通対策の充実を

答 様々な角度から検討を行う

質

共産党のアンケートでは、193通の返信の時点で70名の方が、買い物や病院通いの交通手段の確保を要望されている。

行政でもスーパーの移動販売車の乗り入れや、お出かけ支援などに取り組んできた。また、福祉タクシー券も支給されている。

福祉タクシー券について、不便な地域の人たちも救えるように、充実すべきだ。

佐賀や宇佐木、大野では交流センターや地区の社協で高齢者などの病院、買い物への手助けが行われているが、柳井市では予約式タクシーが導入されており、平生町でも必要ではないか。

答

町長

福祉タクシー利用助成事業開始以降、交付人数・助成金額ともに増加しており、高齢者については制度開始から50%の増加となっている。運転免許の返納などにより福祉タクシーのニーズも高まっている。利用者の声を聞きながら、近隣市町の状況を確認し、また、地域のお出かけ支援事業等の住民団体による取り組みにも考慮しながら検討をすすめていく。

予約式タクシーの導入については、利用者のニーズに沿った交通サービスであるデマンド交通も解決に向けた取り組みの一つとして考えられることから、様々な角度から検討をしていく。





中本敦子 議員

質 議会だよりを読んだ町民と議会を傍聴した町民の感想評価について

答 町民の皆さんと一緒に、諸問題の解決を図る

質

総合計画に基づいた行政と議員の切磋琢磨の意見交換が平生町の飛躍につながると町民は思っている。町民の声の一例である。

議会だよりを楽しみに待っている高齢者が「本会議にふさわしい質問を取り上げてほしい。最近は何レベルの低下を感じている。」と苦言がある。また、議会を傍聴した町民が「反論してばかりでは議論は深まらない。時間の無駄。感情を出しての発言は聞きづらく、議会の雰囲気悪くする。町民の代表としての自覚を忘れないでほしい。」と厳しい声がある。

住みよい町づくりをモットーに町民↓議員↓行政(県↓国)の連携と共通理解が必要では。平生町の躍進を目指して一丸となればとの声があるが。どのよう

答

町長

平生町の中にも様々な問題を抱えている。町民一人ひとりに聞いて回ることは困難であることから、議員の皆さんが代表して質問をされ、質疑を通して色々な問題点を、どの様にして解決していくかということを含めて皆さんと共に考えているのが実情である。

総合計画は、まちづくりの長期的な展望を住民一人ひとりと共有するためのものであり、計画に基づく取り組みを通じて今後も議会と行政、町民が一緒に図っていききたい。

質 有害鳥獣の駆除対策（猪の捕獲と処理）について

答 情報収集や研究を継続する

質

高齢者は年ごとに捕獲と処理に困ってきているという、捕獲と処理方法についてどのような対策をしているのか。

東部地区で共同処理施設等の建設の予定はあるのか、なければ近隣市町で共同処理施設の建設の呼びかけはできないか。

食料としての活用を考えるとどうか、（捨てればゴミ、適正に処理すれば食料）将来的に食糧難がくるかもしれない。

処理施設の建設は問題が多く、すぐには解決できないだろうが自然の中を走り回って一番高級な食材なので、準備をすべきではないだろうか。

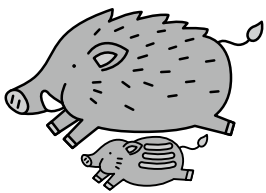
答

町長

鳥獣保護管理法では、原則として全量持ち帰るとあり、やむを得ない場合には適切に埋設処理をしなければならず、捕獲隊員の負担が大きい。埋設以外に焼却という方法もある。

本町においてもジビエ施設について検討したが運営面、建設コスト面、運営の中心となる方がいないなど課題が多くあることから、行政による設置は難しい状況である。

常にマイナスをプラスに転じることはできないかとの視点を忘れずに、民間での取組への支援も視野に入れ、情報収集及び研究を継続する。





平岡正一 議員

質 将来を見据えた教育・文化施設の整備計画を

答 適時見直しも含めて検討の必要がある

質

昭和の合併後に整備された教育・文化施設の老朽化がすすんでいる。

一方で少子化が急速にすすみ、一学年一クラスも予想される。

将来を見据えた、全面的な教育・文化施設の整備計画をつくる必要がある。この中で課題になっている、学校給食施設を一番に、自校方式で整備する計画を求める。

財源計画も重要だ。幸い、下水道事業の償還金の減少が急速に進むことが見込まれるので、必要な基金を造成することも求める。

答

教育長

町教委では、これまで小中学校の施設については、町内にバランスよく配置されており、資産経営の中心となる施設用途であることから、原則として現在の配置を維持していく。

小中学校の教育環境を早期かつ効率的に改善するとともに長寿命化を推進することを基本として考えており、現時点では小中一貫校の設置の考えを含めて将来の学校施設構想の検討には入ってはいない。

学校給食施設については、情勢の変化に柔軟に対応し、適時見直しも含めて検討の必要がある。

質 成人式のあり方について

答 二十歳のつどいとして実施していく

質

成人年齢が十八歳に引き下げられたが、町は、これまでの成人式を「二十歳のつどい」として実施している。行政は前例に従う強い習性があり、方針転換をする事が出来ない。全国的にはすでに、十八歳での行事を工夫している所もある。

町も早期に、十八歳を、主権者としての自覚を高める方向を検討されてはどうか。

答

教育長

本町では、対象年齢の検討にあたり令和2年成人式参加者にアンケートを実施した結果、「二十歳のままでよい」が85.9%という結果であった。

今後の式典については現状では成人として全ての年齢制限がなくなる二十歳という節目に、平生町二十歳のつどい実行委員と一緒に企画・運営をして、成人の日の前日の日曜日に実施していきたい。





河内山宏充 議員

その他の質問

・町営住宅の入居手続きについて

質 オリーブ、レモン栽培の今後について

答 関係機関と協力し進めていく



質

オリーブの試験栽培、また振興作物の試験栽培として阿多田オリーブパーク、名切オリーブファームでオリーブ、レモンの栽培事業を町では行っている。

今後のオリーブ・レモンの栽培促進・普及、商品化、販売経路の確保等、町の観光振興及び農業振興に資するための基本的スタンス、戦略（方向性）を今後どう展開されるのか、お尋ねする。

答 町長

オリーブ、レモンの試験栽培はイタリアをテーマとしたまちづくりを進める上で、農業の活性化の新たな可能性を広げるために取り組んだもので、この圃場で利益を上げることが目的ではなく、栽培実績を積むための実践圃場や、観光農園、パイロット農園などの役割をもった圃場として取り組んできた。

平生町の顔となる特産品をつくる必要性があると考えており、オイル以外の特産品の開発については、来年度から具体的な取り組みをはじめます。

「イタリアアノひろお」ブランドが生かされた観光地づくりを、関係機関と協力し進めていく。

質 宮の下バス停付近の整備について

答 快適な整備を実現できるように県に要望する



質

宮の下バス停付近の道路整備についてお尋ねする。

この場所はシニアカー利用者、歩行者、自転車利用者、車両の通行に支障がある場所だ。

横断歩道橋の撤去、通学路の安全対策、バス寄せの移転を含めた快適な道路整備を町の財政負担が軽減される方策で県と協議されることを望む。

現状をどう考えておられるか、所見を尋ねる。

答 町長

佐賀小学校の児童、保護者、地元住民からの改善要望は把握していない状況である。

バス停の移転及び横断歩道橋の撤去を含めた道路改良について検討すべきである。

横断歩道橋については、定期的に現状を確認し、歩道橋の適切な管理、通学路の安全対策及び確保、バス寄せ場の適切な位置への移転など、快適な道路整備を実現できるように、県に引き続き要望していきたい。



岩本ひろ子 議員

質 道路公園の環境整備について

答 町から案を出し、県と検討する



質

光・上関線で佐賀の秋森にある道路公園について、現在公衆トイレが使えなくなっている。放置状態が続いたことで設備は朽ちとも不衛生な環境となっている。

この管理体制はどのようになっているのか。またトイレを解体するのではなく改修設置することはできないか問う。

答 町長

道路公園の管理体制については、山口県と本町が、平成8年4月、維持管理についての委託契約を締結し道路公園の維持管理を実施している。

公園の公衆用トイレについては、平成29年10月に配電盤が故障し、井戸水のくみ上げができずトイレが使用できないため県に修理依頼した。対応がないため平成30年2月、県に対しトイレの撤去及び廃止を要望した。その後、町によるトイレの維持管理は実施していない。

公衆用トイレを新設する場合は本町の負担となる。

公衆用トイレの撤去については、県に粘り強く要望している。

秋森道路公園を今後どのような形にするか本町から案を出し、県と引き続き検討する。

第1回
臨時会
1月30日

一般会計 補正額 986万6千円増

予算総額 63億7,407万円

令和5年第1回臨時会が開かれ、補正予算1件、報告1件が上程され、いずれも全会一致で可決しました。

令和4年度一般会計補正予算

●主な歳出

▽一般管理費

尾国簡易郵便局について、現行の局舎から佐賀地域交流センター尾国分館への移転・開設経費 264万6千円増

▽新庁舎整備事業費

電柱の移設・撤去 101万円増

▽福祉医療対策費

子ども医療費助成制度の拡充に伴う事前準備に要する経費 60万3千円増

▽保育所運営費

佐賀保育園の送迎用車両への置き去り防止のための安全装置購入に要する経費 20万円増

▽母子衛生費

出産・子育て応援事業の実施に要する経費（妊娠

および出産時にそれぞれ5万円を給付） 521万6千円増

▽小学校費学校管理費

平生小学校の特別支援学級増設に伴うタブレット保管庫の購入に要する経費 19万1千円増

主な質疑

質 出産子育て応援事業について、令和4年4月1日以降に出産された全ての人が対象になるのか。

答 令和5年4月以降に事業を開始する予定だが、事業開始前でも令和4年4月1日以降に妊娠・出産された方はこの事業の対象になる。

自治功労者表彰 及び 町村議会表彰伝達式

令和5年2月17日

議員15年以上在職



河藤 泰明 議員

議員15年以上在職



岩本 ひろ子 議員

議員27年以上在職



河内山 宏充 議員

町村議会表彰



平生町議会（中川議長）

県町議会議員研修会

県町議会議員研修会が2月17日にセントコア山口（山口市）で開かれました。講師に一般社団法人シャルフレーム代表理事の中根吉美氏を迎え「なぜ今LGBTQなのか？SDGs・リスク・発展性の3点から考える」と題して講演を聞きました。

LGBTQなどの基礎的な知識や見えないマイノリティと呼ばれる可能性が身近にいる可能性があるということを知り、SDGsや多様性に関する考え方の理解を深めていくことや取り組みメリットについてのお話でした。

LGBTQ当事者と関わりのある人の割合が増えていることから、社会的に認知し、個人の尊重を守っていくという社会づくりの取り組みが必要であると考えます。



市町村議会議員研修

【場所】全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）

◎1月11日～1月12日

〔内容〕自治体財政の見方／健全化

判断比率を中心に

〔受講者〕平岡正一議員

議会広報広聴調査特別委員会



2年間議会だよりを読んでいただきましてありがとうございました。ごさいました。

限られたページの中でできるだけ多くのことを伝えられるように試行錯誤してきました。

読みづらい点もあったかと思いますがお許しいただければ幸いです。

これからも議会だよりは続いていきます。ご指導の程よろしくお願いたします。

2年間どうもありがとうございました

平生町議会議員



4年間どうもありがとうございました

5月31日をもって任期満了

令和5年6月定例会会期（予定）

6月 19日(月)	9時 ～	本会議
20日(火)		本会議
21日(水)		産業文教常任委員会
22日(木)		総務厚生常任委員会
26日(月)		議会運営委員会
27日(火)		本会議

紙面の都合で一部変更
することもあります。掲載文
ご了承願います。掲載文
には薄謝を差しあげます。

提出先
平生町役場
議会事務局
議会広報担当者

字数
400字以内

原稿募集
議会のこと、我が町自慢、つ
れづれに思うこと何でも結構
です。

- 12月13～21日 令和4年第10回定例会
- 12月13日 議会広報広聴調査特別委員会
- 12月21日 議会全員協議会
- 12月22日 柳井地区広域消防組合議会定例会
- 12月23日 田布施・平生水道企業団議会定例会
- 12月26日 議会広報広聴調査特別委員会
- 柳井地域広域水道企業団議会定例会

令和5年

- 1月 6日 議会広報広聴調査特別委員会
- 1月17日 議会広報広聴調査特別委員会
- 1月30日 令和5年第1回臨時会
- 2月17日 全国町村議会議長会自治功労者表彰
及び町村議会表彰の伝達式
- 県町議会議員研修会
- 2月21日 周東環境衛生組合議会定例会
- 2月24日 議会運営委員会
- 2月27日 議会全員協議会
- 3月 1日 柳井地域広域水道企業団議会定例会

議会の
動き

(R4. 12. 13 ~
R5. 3. 7)



編集後記

3月議会も終了し、令和5年度予算が通過しました。これから予算が執行されま
す。昔、議員の人から聞いた話ですが、平
生町の財政を見るの
に町税の8割を人件
費が超えるという話
に聞きました。まさしく今の状態となっ
ていると思います。
インフラの整備、各自治会からの要望がこなせていないのも資金不足のためです。資金不足だから借金をしてインフラの整備をするわけですが、借金を重ねるわけにはいきません。借金を重ねると将来世代に負担をかけることになり、どこからか資金の調達をしなければなりません。これからいろいろな面で住みよくなるために進めるためには資金が必要で、そのためには人件費を削るか、新たな財源を確保していくことが平生町の大きな課題だと思います。

村中 仁司